

岩手競馬の発売実績等について

令和2年8月24日
財 政 部

I 令和2年度第5回盛岡競馬まで（通算第10回 4/5～8/17 60日間）の発売実績等について

1 発売額の計画達成状況等

(単位：百万円, %)

区 分	岩手競馬発売額				広域受託 発売額
	自場発売	広域委託発売	インター ネット発売	計	
計画額 (a)	3,071	2,090	15,596	20,757	1,797
実績額 (b)	1,279	609	25,916	27,804	663
差額 (b-a)	△ 1,792	△ 1,481	10,320	7,047	△ 1,134
達成率	41.7	29.1	166.2	133.9	36.9

2 発売額の前年度比較

(単位：百万円, %)

区 分	発 売 額		
	令和2年度	令和元年度	前年度比
自場発売 (1日平均)	1,279 (21)	3,221 (56)	39.7 (38.4)
広域委託発売 (1日平均)	609 (10)	2,059 (36)	29.6 (28.6)
インターネット発売 (1日平均)	25,916 (432)	13,805 (238)	187.7 (181.5)
合 計 (1日平均)	27,804 (463)	19,085 (329)	145.7 (140.8)

注1 令和2年度は60日間の実績，令和元年度は58日間の実績である。

注2 達成率及び前年度比は，円単位の金額で算出している。

注3 端数調整等により，計数に異同が生ずる場合がある。

II 競馬場・場外発売所へのお客様入場再開に係る経過について

1 競馬に関するガイドラインについて

政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を踏まえ、新型コロナウイルスの感染症対策専門家会議の「新型コロナウイルス感染症対策の状況・提言」において示された業種ごとのガイドラインの作成の求めに応じ、地方競馬全国協会が専門家の意見等も踏まえて策定

(1) 当初ガイドライン（令和2年5月27日公表）

- ・ 場外発売所における勝馬投票券の発売を再開する場合の前提となる新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に関する基本的事項を定めたもの。
- ・ 場外発売所を対象とし、来場者、従事者の安全確保（3つの密の回避、感染防止対策の実施、発生時の対応等）、施設管理（清掃・消毒・換気の徹底、行列・滞留が生じる箇所への対策等）などについて示している。

(2) 改訂ガイドライン（令和2年7月3日公表）

- ・ 競馬場（開催本場）における感染拡大予防策等を追加し改訂
- ・ 競馬施設における、来場者、きゅう舎関係者、従事者、馬主・報道関係者の安全確保、競馬場固有施設（パドック、スタンド、ウイナーズサークル等）を含めた施設管理などについて示している。

2 お客様入場再開等の経過

		再開施設等	備考
5月	27日（水）	ガイドラインの公表	対象は場外発売所
6月	14日（日）	場外・相互場外発売再開	大通、JRA施設内場外を除く
	15日（月）	広域委託発売再開	名古屋競馬場外発売所で発売を再開
	24日（水）	他場発売再開※	競馬場、大通、JRA施設内場外を除く
	28日（日）	（優待バス、指定席再開）	
7月	3日（金）	改訂ガイドライン公表	対象を競馬場に拡大
	5日（日）	大通場外再開	映像、オッズ表示なし
	8日（水）	競馬場の他場発売再開	盛岡、水沢とも
	12日（日）	競馬場のお客様入場再開	水沢場外、水沢優待バス再開
	〃	つがる場外再開	発売時間限定（14時まで）

※ 他場発売：他主催者からの受託発売（広域受託発売）

〔参考〕

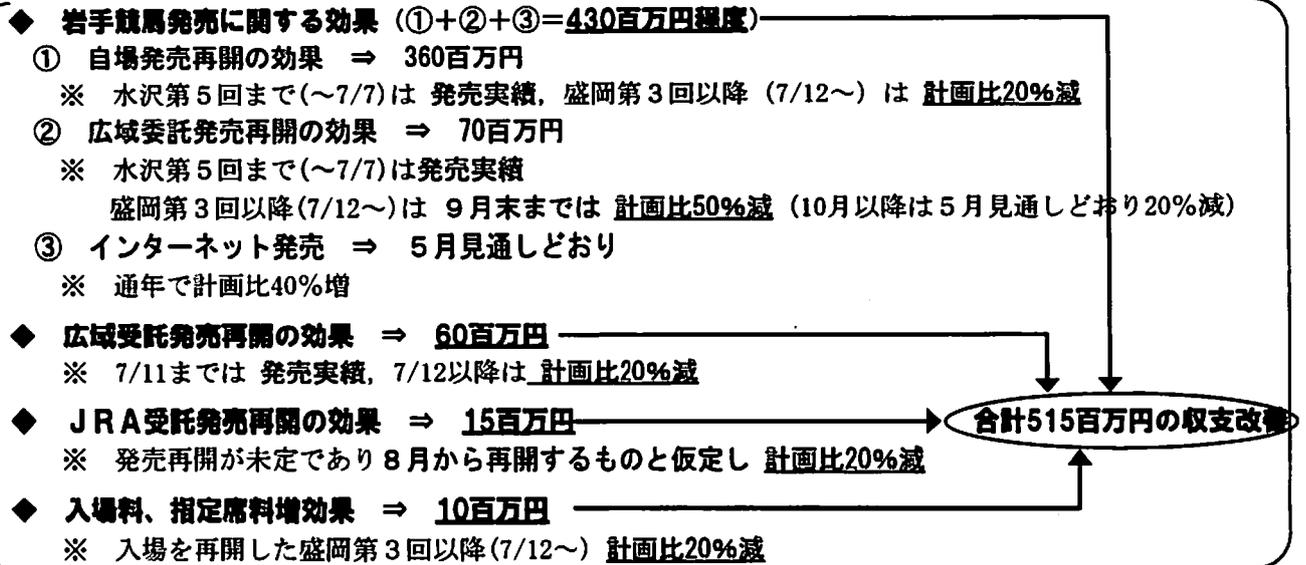
岩手競馬発売施設で、未再開はJRA東京競馬場内場外発売所のみ

III お客様の入場再開等に伴う収支見直しについて

1 お客様の入場再開に伴う収支見直し

(1) 5月見直しからの収支改善効果

6月14日の一部場外発売所再開以降の発売状況等を踏まえ、一定の仮定の下に行った現時点での粗い試算ではあるが、本場への入場再開のほか、他主催者との受委託の再開や、JRA発売の再開等に伴う収支改善効果について見込んだところ、5月時点での収支見直し(3億6千万円の収支不足)から約5億1千万円程度改善し、当期利益は1億5千万円程度となる見込み。



(単位：百万円)

区 分		当初計画額	5月時点 見直し額(7)	収支改善効果 (4)	今回見直し (7+4)	摘 要	
岩手 競馬 発売 収入	自場発売	6,642	2,125	1,931	4,056	6/14再開(計画比△20%)	
	広域委託発売	4,267	1,289	789	2,078	6/15再開(~9/30計画比△50%)	
	インターネット発売	29,816	41,742	0	41,742	(通年計画比+40%)	
	計(A)	40,725	45,156	2,720	47,876		
その他収入(B)		1,695	1,116	231	1,347	6/24広域受託再開(計画比△50%) 8/1 JRA発売再開想定(計画比△20%)	
収入合計(C=A+B)		42,420	46,272	2,951	49,223		
売上原価(D)		34,996	39,328	2,221	41,549	発売額の増減に伴う払戻金等の増減	
総利益(E=C-D)		7,424	6,944	730	7,674		
販売費 及び 管理費	競走関係費(賞典費)	2,514	2,734	0	2,734	(5月見直しどおり)	
	事業 運営 費	施設・情報システム費	1,153	997	102	1,099	発売再開に伴う経費 (=無観客により減となっていた 経費)
		開催労務費	812	688	72	760	
		営業販売費	370	332	19	351	
		人件費	347	347	0	347	
		その他販売・管理費	2,194	2,194	22	2,216	
	小計	4,876	4,558	215	4,773		
計(F)	7,390	7,292	215	7,507			
営業損益(G=E-F)		34	△ 348	515	167		
損益(営業外費用、特別損益調整後)		20	△ 362	515	153		

(2) 今後収支への影響が懸念される事項

- ① 新型コロナウイルス感染者が全国的に再び増加している状況にある中、今後の経済動向が不透明であり、好調なインターネット発売を含め今後の発売額を的確に見通すことが難しいこと。
- ② 広域委託発売については、都市部など競馬場施設での発売に慎重な主催者が多く、当初計画に見合った委託再開時期が見通せない上、仮に発売が再開した場合であっても発売動向を見通すことが難しいこと。
- ③ 地域における新型コロナウイルス感染者の状況によっては、施設毎に再度リスク評価を行った上で勝馬投票券の発売を見合わせるなど、対応を強化することが必要となる可能性があること。
(他の主催者においても同様であり、広域委託発売、受託発売ともに影響を受ける可能性がある。)

2 収支見通し等を踏まえた対応

インターネット発売が好調に推移していることに加え、本場へのお客様入場も再開したことから、見通しどおりの発売額を確保できれば、当初計画を上回る収益を確保できる見通しとなったところ。

一方で、新型コロナウイルス感染の収束が見通せず、感染拡大予防対応が長期化する中であって、今後の発売動向等が不透明であることや、全国的な感染者の動向等に対応した新たな対応の可能性など、様々な状況を視野に入れた慎重な競馬事業運営を行っていく必要がある。

したがって、今後も、年間での収支均衡を図ることを基本に、今後も発売確保策や予算の執行保留等を継続することとするが、今後の発売動向を踏まえ、将来の収入確保に資する経費（7次端末発売機整備等）から、取組の着手（執行保留の解除）を検討する。

(1) 収入確保策

- 盛岡開催のレース発走時刻の繰り下げ等、他主催者と競合しないレース施行等の工夫を継続

(2) 支出抑制策

① 修繕費等の予算執行保留（2.6億円）の継続

- ・盛岡・水沢7次端末機更新
- ・盛岡競馬場決勝写真照明設備更新 等

② 支出予算（光熱水費等）節減（1.1億円）の継続

- ・盛岡・水沢両競馬場設備小修繕
- ・業務用車両の更新
- ・光熱水費一律10%節減 等

3 見通しの修正及び対応の変更

今後、年間を通じた収支に影響するような事態が生じるなど、特に、今般の見通しを下方修正せざるを得なくなった場合には、改めて収支見通しを立てることとし、その際には運営協議会を開催して、収支の状況を説明するとともに、対応について協議する。